

あすならホーム畝傍 介護・医療連携推進会議議事録

開催日時	2025 年 9 月 19 日（金） 11：10～11：30														
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：3 名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍 2 名） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター 南エリア） 4. 職員：5 名														
利用者登録状況 （9 月 15 日現在）	1. グループホーム：15 名 2. 小規模多機能型居宅介護：12 名 3. 看護小規模多機能型居宅介護：23 名 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：56 名 5. 訪問看護：22 名 6. ケアプランセンター：107 名（要介護） ＜定期巡回・随時対応型訪問介護看護 利用者の介護度（請求ベース）＞ <table><tr><td></td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>9 月</td><td>23</td><td>11</td><td>12</td><td>7</td><td>3</td><td>56</td></tr></table> ※平均介護度は <u>2.3</u> の状況です		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	9 月	23	11	12	7	3	56
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計									
9 月	23	11	12	7	3	56									
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなでできるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家での閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流														

人数 春の学習会は4回開催し、ご家族を含む78名の方が参加。

秋の学習会予定：10/30(木)、11/20(木)、11/29(土)

- (2) 福祉講演会 年2回
- (3) 福祉学習会 年4回(友の会でお知らせ)
- (4) 買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週1回(土曜日14:00)正面玄関付近に。
- (5) ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では1名の方を2023年11月まで支援。

3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

- (1) 地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。
- (2) 2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流(年2、3回開催)
- (3) 学習交流会を企画
 - ①2025年5月23日橿原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。
 - ②専門職向けに、認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を計画中。

4. ご利用者に対する取り組み

- (1) ご利用者の様子
 - ①お出かけ 原則、制限なし。
 - ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。
長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。
 - ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画
- (2) 重大事故 発生なし
- (3) 取り組み状況と今後の取り組み
 - ①事例報告。独居で自宅での生活は厳しいと入所を進められていたが「施設へ入所はしたくない」とご本人の強いご希望あり定期巡回ご利用となる。歩行困難で自宅内に車椅子やベッドが必要であったが、ご本人は必要性を感じられず福祉用具を借りたくないとの強い意向あり。自宅内では四つん這いでも移動したいというご本人の気持ちに寄り添った。退院後定期巡回リハビリ職が週3訪問。自宅内を四つん這いで移動されていましたが3日で擦り傷ができ、サポーターを使用していただくが治らず。ご本人へ身体的なリスク等をリハ職・看護職よりお伝えし、現在の状況では福祉用具が必要なことをお話し受け入れられ創部治癒。当初は生活全般の支援が必要でしたが、引き続きリハビリ職を中心に動作の訓練を行うことで動きがかなり良くなり、食事準備やトイレなどご自身で出来ることが増えた。リハビリ職が生活動作の評価を行い、各専門職へ共有し同様の支援が出来るようになった。リハ・看護・介護が連携することで、ご本人の気持ちにひとつひとつ寄り添い問題点を改善し、各専門職がチームとなりご本人の動きや支援を相談・共有することが出来た事例となりました。
 - ②ご利用者の意欲向上のために、その人にあった「おでかけ企画」や利用者様同士の交流会など企画を提案していきたいと考えています。

- (4) 金銭管理についてキャッシュレス化

10月～プリペイドカード導入予定

今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年2回(9月1日地震を想定、3月11日風水害を想定) (2) 消防避難訓練 年2回(6月17日開催済。次回は11月18日を予定) (3) 秋のあすなら学習会 日程:10月30日(木)、11月10日(月)、11月29日(土) 時間:10:30~12:00
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・食事のおでかけ企画をしてもらえたりと日々楽しく過ごしています。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・限られた職員数で地域を広く支えてもらっている。移動店舗を開放し地域の人とも交流できる状態にしている。
その他必要な事項	◎感染症対策委員会等 2025年7月23日 感染症対策委員会を開催。全職員研修会を実施。 ◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会(半年に1回)、身体拘束適正化検討委員会(3か月に1回開催)を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※2025年6月25日 身体拘束適正化検討委員会を開催。※2025年8月27日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016年7月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2025年9月19日現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定:2026年3月13日(金)10:00~(場所:あすならホーム畝傍 サロン)